あしたへ

OYAMANOTAISHO

男声合唱団 お山の大将 第7回定期演奏会

ともに歌おう

2014年3月23日（日）14時開演・八王子市芸術文化会館 いちょうホール（大ホール）

（公財）八王子市学園都市文化ふれあい財団芸術文化活動支援事業

お山の大将 Home-page ： choroyamanotaisho.web.fc2.com/

ごあいさつ

団　長　　松井 正夫

感謝の気持ちを込めて一生懸命歌います

本日は何かとご多用の中、男声合唱団「お山の大将」の第７回定期演奏会にお越し頂き誠に有難うございます。

当合唱団も今年で創立 24 年となりますが、皆様のご支援で、演奏会の回を重ねることが出来ております。

今日の演奏では、従来どおり近隣の合唱団の仲間に参加して頂くと共に、３年前に私共有志が東日本大震災の被災地、石巻市での交歓演奏会に参加した折にお世話になった、石巻メンネルコールの皆さんにも出演頂いております。とても心強く、感謝の気持ちで一杯です。

演奏曲目はプログラムにもありますウィーンのひびき、はじめ、合同演奏「土の歌」等を皆様にお届けしたいと考えております。

日頃の練習の成果を精一杯発揮できますよう、一生懸命歌いますので、どうぞ最後までお楽しみください。

指揮者　　松田 有子

あしたへ～ともに歌おう

なんとあたたかな響きなのでしょう、これこそが「はじめてのコンサート」から抱き、貫いてきた「お山の大将」の―おもい―なのです。そして７回目の今日、たくさんの男声合唱の仲間を迎え、コンサートは実現します。2013 年３月、福島県いわき市で行われた「ピエロ in いわき」、小林研一郎指揮「月光とピエロ」を一緒に歌った６人の仲間、その１人からつながった法政大学アリオンコールの３人の大学生、私の母校南多摩高等学校のかわいい２人の後輩、さらに 2011 年に石巻を訪れての演奏会で共演した石巻メンネルコールの皆さんとその輪は大きく広がりました。

私たちは、その貴重な体験から、単独の活動からは得ることのできない多くを学んでいるのです。

そして今日、何とお山の大将は“音楽の都”に挑みます。
平均年齢 70 才（もちろん若者だっているのですが）、そのステージからウイーンの香りが微かにとどいたら・・・どうか惜しみない拍手をお送り下さい。

24 年前小さな私のレッスン室で産声をあげた「お山の大将」。
私の夢、いいえ目標は― 2020 年 30 周年記念第 10 回定期演奏会―です。そのための大事な一歩となる今日のステージ、私たちは力の限り歌います。どうぞ、お聴きください。
そして今後とも、わがお山の大将をよろしくお願い致します。

本日はありがとうございました。